

第2次「高知県DV被害者支援計画」進捗状況の概要(平成26年度)

県民生活・男女共同参画課

1 総括

○26年度も引き続き、関係機関との連携や一時保護所退所後のフォローアップの強化などに取り組んだ。

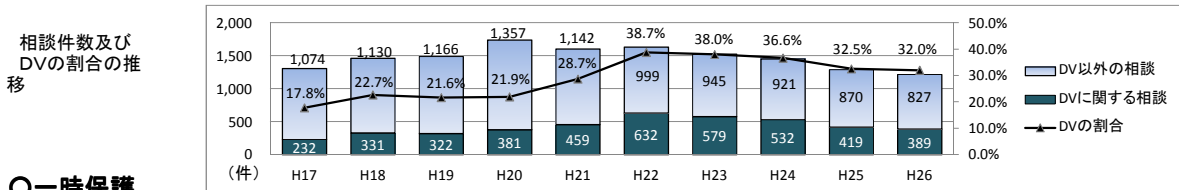
- ※1 市町村の主体的なDV対策の実施に向けて、**DV計画策定等への支援**を行った。
- ※2 **バス車内広告、テレビ・ラジオ、啓発カード等、様々な手法を活用し、女性相談支援センターの周知**を図った。
- ※3 DV被害者の自立支援を目指し、**就労に向けた各種相談の実施や講座の開催**等の支援を行った。
- ※4 **心理ケア担当者による心のケアや、専門機関によるカウンセリングにより心と体の回復**を図るとともに、**退所後は定期的に家庭訪問等**を行うことで、自立への支援を行った。
- ※5 第2次計画の重点課題である「地域での見守りの体制づくり」のため、「**ブロック別関係機関連絡会議**」及び「**DV対策連携支援ネットワーク会議及び専門家研修会**」を開催し、**見守りネットワークの推進・強化に取り組む**、市町村担当者や各種支援機関・関係者等との連携を強化した。

○近年、相談件数は緩やかな減少傾向にある。一時保護数は、25年度に大きく減少し、26年度は約10件増えたものの、**ほぼ同様であった**。ただし、要保護のケースは多様で、複雑化、対応困難な事例があることから、**今後も広範な関係機関との連絡調整、見守りやケアが重要**。

【参考】女性相談支援センターにおける相談及び一時保護の状況

○相談

- ・平成26年度の相談件数は1,216件で、前年度(1,289件)と比較して約6%減少している。
- ・主訴別では、夫等からの暴力(DV)に関する相談が389件で、総件数に占める割合は32.0%と引き続き減少傾向にある。



○一時保護

- ・一時保護世帯は44世帯(うちDV理由27世帯)で、前年度の35世帯(同25世帯)と比較して約26%(同8%)増加している。
- ・年代別では、20歳代及び50歳代がそれぞれ約30%を占め、最も多くなっている。

